

Local News

【ローカルニュース】

釧路

Kushiro



釧路歯科医師会

新年交礼会

日時：平成24年1月14日(土)

場所：釧路全日空ホテル

恒例の標記交礼会が開催された。蝦名大也釧路市長をはじめ、来賓14名、会員77名が参加した。大島尚久専務理事司会のもと、木村流大正琴の優美な演奏にて会の幕開けとなった。

比谷 勝 副会長の開会の辞、中村正利会長の挨拶の後、蝦名大也市長、杉元紘一釧路会長より来賓祝辞があった。続いて今年度の新入会員である土井上輝夫先生が紹介された。祝電の紹介の後、金安伸一道薬会釧路支部支部長の発声にて祝宴がはじまった。

祝宴において来賓と会員たちは、まさに礼を交え合うように、親交を深めた。最後に、坂本敏教道歯技工士会釧路支部会長の万歳三唱、中谷洋司副会長の閉会の辞にて盛会裏に会を終えた。

(窪田正樹記)



中村会長



釧路歯科医師会新年交礼会

日歯生涯研修セミナー DVD鑑賞会

日時：平成24年1月19日(木)午後7時30分～午後9時30分

場所：釧路会館2階大講堂

今年も学術部主催の標記DVD鑑賞会が開催された。平成23年度生涯研修セミナー 明海大学歯学部鈴木 尚 臨床教授の『欠損歯列の咬合を読む』を、軽食を摂りながら約2時間にわたりゆっくり鑑賞することができた。

欠損歯列に起きた咬合の問題点を発見する方法論と、その対処法について理解を深めることができた。

(金子峰夫記)

学術講演会

日時：平成24年1月21日(土)午後2時30分～午後6時

場所：釧路会館 2階 大講堂

演題：「ニューコンセプト 歯周治療

～歯周基本治療と“力”のコントロール～」

講師：池田歯科クリニック(札幌市開業)

池田雅彦先生(日本歯周病学会指導医・北海道大学歯学部臨床教授)

佐藤昌美歯科衛生士

(日本歯周病学会認定歯科衛生士)

歯周治療と言えばフラップオペなどの歯周外科処置について取り上げられることが多いが、その前の歯周基本治療について、その重要性は誰もが認めつつも語られることは少ない。

また、歯周病に影響を与える力についてブラキシズムやクレンチングといったパラファンクションが考えられてきたが、今まで影響を与えないと思われてきた咀嚼時にかかる圧は本当に歯周病に関与しないのか？

歯周基本検査およびレントゲン像などから、治りやすい歯周病と治りにくい歯周病を診断する方法や、ファセットの診断から、歯周病の原因となっている力を特定しコントロールする方法など、多くの症例を交えて講演した。

後半は佐藤歯科衛生士から過去の成功例と失敗例をもとに基本治療の進め方について解説があった。

当日は62名(歯科医師34名、スタッフ28名)の会員らの出席があり、患者さんを含めたチーム医療がもたらす結果に皆見入っていた。なお、歯周病学会推薦の電動歯ブラシはメーカー問わず使いこなせない方が多いため、積極的に薦めたりはしな



池田雅彦先生

いとのことであった。

(山崎克久記)

23年度地区代表者情報交換会

日時：平成24年1月24日(火)午後3時30分～午後5時30分

場所：釧路プリンスホテル 3F 北斗の間

標記情報交換会が、20名出席のもと開催された。この会は、それぞれの市町村の地区代表者、副地区代表者が集まり、地域歯科保健に対する現状や問題点を出し合い、今後の活動の参考にしてもらおうと、新年交礼会に合わせて毎年開催されている。協議事項として

1. フッ化物洗口について
2. 地域での保健活動について
3. 歯科衛生士対策について
4. その他

が挙げられ、事前にとったアンケートをもとに会議が進められた。各地区の現状報告を行い、それに対し意見交換を行うというスタイルで進められ、それぞれの議題に対し活発な意見交換が行われた。来年度も同時期に行うことを確認して閉会した。

(大澤正幸記)



23年度地区代表者情報交換会



新年交礼会

日時：平成24年1月20日(金)午後6時30分より

場所：旭川グランドホテル

恒例の新年交礼会が開催され、西川将人旭川市長をはじめとする多くのご来賓にご出席いただいた。岩田谷会長から平成24年度に各種表彰された旭歯会員へ祝辞があり、代表で渋川義和先生がお礼の挨拶を述べた。表彰された先生は以下の10名

(敬称略)

日本学校歯科医会会長表彰：
渋川義和、北海道歯科医師会功
労会員表彰：高橋綾子、北海道
歯科医師会終身会員表彰：藤田
忠昭・原田紀久・長谷川芳昭、
北海道学校保健功労者表彰：水



岩田谷会長挨拶

上裕太郎・大門弘明・園田明弘、旭川市学校保健
功労者表彰：田口貴嗣・三戸知史。

2時間ほどの交礼会であったが終始和やかに時が
過ぎ、盛会となった。(柴田敏也記)



渋川義和先生挨拶

平成23年度 旭川歯科学院専門学校 戴帽式

日時：平成24年1月27日(金)午後5時より

会場：旭川歯科学院専門学校

歯科衛生士科2年生の戴帽式が厳粛な雰囲気の中
で行われた。この戴帽式は、学生が2年間における
全ての学校内実習を終了し、これから臨床実習
へ臨むひとつの区切りとして行われている。

さまざまな学内での学習経験、さらには臨地実
習を通して将来医療従事者となるべく自覚と意識
を高め、憧れのナースキャップを戴いた表情は、皆、
誇らしげで嬉しさに溢れていた。また、静かにキャン
ドルを灯し、厳かに歯科衛生士の誓いを述べる
学生の姿は凛としており、大変感動的で、頼もし
く感じられた。

(旭川歯科学院 幾原智子記)



戴帽式

岩見沢

Iwamizawa

豪雪「岩見沢」

日時：平成24年1月15日(日)未明から17日(火)

昨年12月から局地的大雪が続いている「岩見沢市」では、年が明けた15日より再び大雪に見舞われ、16日には最深積雪194cmの観測史上最高を記録した。

この日の市内路線バス・都市間交通バスは全て運休、JRも約200本の運休、ごみ収集は一部でストップ、小中学校・高校は臨時休校、市内車道大渋滞など、都市機能が完全に麻痺してしまった。幹線道路の除雪が優先されたために、住宅街では深さ数十cmの雪がそのまま手つかずとなり、そのほとんどが小型自動車同士でもすれ違えない一車線の道路と化し、市内のいたるところで車が立ち往生した。また、交通事故や落雪事故、家屋の損壊などが多数発生した。さらに、「車が車庫から出せない」「除雪車がこない」「数キロの移動に2時間かかった」など市に苦情が殺到し、翌17日から、災害派遣要請を受けた陸上自衛隊による除排雪作業が、岩見沢市と三笠市で行われた。

管内の各歯科医院では「交通事情によるキャンセルが非常に多い」、「スタッフが出勤できない」「1年分の雪が、ここ2週間で降り、排雪費が例年の倍以上だ」など、どこにもぶつけようの無い怒りの声やなかば諦めの声が聞こえていた。

(久恒泰宏記)



豪雪岩見沢

三師会新年交礼会

日時：平成24年1月24日(火)午後7時より

場所：ホテルサンプラザ

岩薬会、岩医会、岩歯会から総勢61名が集まり、

標記交礼会が開かれた。倉増秀昭医師会会長の代表挨拶では、大雪、大震災、TPP、診療報酬改定などについて触れ、特に報酬改定では歯科、医科は微増だが、薬剤はシビアな改定だと感想を述べた。また、衆議院議員選挙があつて、もし渡辺岩見沢市長が立たれるならば、三師会をあげて応援したいと述べた。これを受けた渡辺市長は祝辞のなかで、大雪に対して6億円の追加予算を組んだこと、TPP、消費税、岩見沢市の基盤の強化などについて述べ、現在の職務をまずは全うしたいと言うにとどまった。マリンバ演奏の出し物の後は、各々のテーブルでの歓談が続き、次回当番である当会の竹内友康副会長の閉会の辞で、閉会となった。

(久恒泰宏記)



道央北ブロック役員連絡協議会

日時：平成24年2月4日(土)午後3時より

場所：ピパの湯 ゆ〜りん館

美歯会の主幹により標記協議会が行われた。道歯からの報告事項の後、『法人改革問題』、『FC1(クラウドコンピューティング)』の利用方法、『フッ化物洗口』についての情報交換や意見交換が行われた。当会からは、久恒理事がFC1を情報の貯蔵庫として用いていることや、会員への案内に有料メーリングリストの『M List』を使いはじめたこと、今冬の大雪に対する手段としてSkypeを使って岩見沢市—夕張市—長沼町を結んでネット



佐々木理事

山本理事

会議（広報部会）を行っていることなどが紹介された。九津見専務からは、フッ化物洗口の進捗状況と今後小中学校に勧めるうえでの課題などについて報告された。懇親会の席でも、前述の会議の続きのように、さまざまな意見交換が各テーブルで行われた。（山本達也記）

千歳

Chitose

社団千歳歯科医師会設立40周年記念 新年交礼会

日時：平成24年1月28日(土)午後6時より

場所：ANAクラウンプラザホテル

出席者全員による記念撮影が行われたのち、標記交礼会が水戸厚生担当理事の司会進行で行われた。

開宴に先立ち、佐々木宇一会長が来年度の公益法人への移行について、さらに今年の保険点数の改定について説明をし「今日は皆さんにわざわざ集まっていたいただいたので、嫌なことは忘れて最後まで楽しんでいってください」と年頭の挨拶を行った。



佐々木宇一会長

続いて、佐々木会長、河井、後藤副会長と今年還暦を迎える恵庭地区の鈴木 毅 先生による恒例の鏡開きが行われた。ちなみに今回は、残念ながら出席されなかったが、恵庭地区の津田弘美先生と北広島地区の小屋先生もその仲間入りをした。

河井副会長の乾杯により開宴し、おいしいお酒と料理を楽しみながら、一息ついたところで、昨年「北海道社会貢献賞・地域医療功労者」を受賞された中村堅次先生、「北海道社会貢献賞・公衆衛生功労者」を受賞された清水 明 先生に本歯会より記念品と花束贈呈が行われ、これを受けて両先生より謝辞が述べられた。

また、昨年12月に千歳で開院した新入会員の田村 基 先生の紹介と挨拶があり、さらに今年度で本歯会を退会することとなった千歳地区の青木一枝先生と恵庭地区の加藤直樹先生が挨拶を行った。

今年は、社団千歳歯科医師会設立40周年の記念新年交礼会であるため歴代の会長を代表して、赤堀先生がこれまでもを振り返り、当時の貴重なお話を

を年代別に述べて頂いた。

次に、佐々木会長が今回の40周年記念新年交礼会は、10年後に50周年を控えており、その時に10年を振り返るための40周年の記念行事とさせて頂いたということ、30周年から40周年までの10年間のうち8年間を本歯会会長として、現在の礎を築いて頂いた清水 明 先生の功績について述べた。そして、「今後もわれわれ自身が幸せであるため、何か問題があれば、皆で知恵を出し合い、一つの方向性に向かえるような風通しのよい会にしていきたいので、皆さんご協力を宜しくお願い致します」と締めくくった。

引き続いて余興の時間となった。例年であれば、ビンゴゲームで盛り上がる所であるが、今年は趣向を凝らしてスライドショーとなった。今年でちょうど40歳になる厚生部の高木先生が徹夜で制作した過去10年の本歯会の埋蔵写真をスライドで紹介しながら、水戸・高木両先生の軽快なトークで場を盛り上げた。

会場からは爆笑やその時のエピソードを話す先生など様々な反応が伺え、出席者はとても楽しい時間を過ごした。

最後に今年で還暦を迎える鈴木毅先生の締めの乾杯で閉会となった。（佐藤泰祥記）



今年還暦を迎える、締めの乾杯をする鈴木毅先生



全体写真

函館

Hakodate

新年交礼会

日時：平成24年1月7日(土)午後6時より

場所：函館国際ホテル

標記交礼会が多くのお来賓と会員を迎え、開催された。永坂会長は冒頭の挨拶で「未曾有の大震災の復興で厳しい現状のなか、日本人は歴史的に培ってきた人を思いやる心を持った民族であるとあら

ためて感じた。我々函館会としてもその思いやりの心を根底に据えて、患者や地域住民の皆様へ接しながら事業を展開していく所存である」と話した。

工藤壽樹函館市長、逢坂誠二衆議院議員、伊藤丈雄函館市医師会会長より挨拶、来賓紹介につづき、連盟函館支部後藤次夫顧問の乾杯の発声にて開宴となった。

参加者はそれぞれ新年の挨拶を交わし、祝宴は和やかな雰囲気の中進行した。最後に渡島総合振興局保健環境部高垣正計部長の乾杯で閉会となった。（仲屋正樹記）



美 唄

Bibai

平成23年度美唄市三師会新年総会・講演会

日時：平成24年1月20日(金)午後6時より

場所：ホテルスエヒロ

36人の出席者のなか三師会新年総会が開催され、行われた。美医会井門 明 会長の開会の辞の後、平成23年度の三師会の活動（一般市民向けの講演会の実施状況等）報告があった。

次に、花田病院花田亜希子副院長より「ペースメーカーの基礎知識」の演題で講演が行われた。心臓ペースメーカーの構造や作用機序、適応疾患、さらに歯科治療用機器や他医療機器、日常生活で用いられる電子機器による影響、それらによって生ずる不具合の回避法などについて、簡潔かつ分かりやすいご講演であった。

講演終了後は懇親会が行われ、小森英



世会長の乾杯で開宴した。豪雪にまつわる話題が飛び交うなか、本年度の市の地域医療貢献にどう携わっていくべきか意見交換などしながら終始和やかに宴が進行した。美薬会背古知良会長の乾杯で懇親会は終了した。

（滑川貴彦記）

道央北ブロック役員連絡協議会

開催日時：平成24年2月4日(土)午後3時15分より

開催場所：美唄 ピパの湯 ゆーりん館

毎年恒例の岩歯会、空歯会、美歯会の3郡市区会からなる標記会合が、本年は美歯会当番にて開催された。

道歯会より富野会長、川原・長江両副会長、紺野専務、後藤常務が、岩歯会からは鍵谷会長以下6名、空歯会からも伊東会長以下7名の出席があり、当会からは6名出席した。

寒波と豪雪で南空知管内は天候状況誠に厳しく、開催も危ぶまれたが無事開催でき安堵した。というのも、同主催ゴルフ大会がゲリラ豪雨により、中止に追い込まれた経緯があるためである。

まず道歯会務報告などに続き、本年度の協議議題は、

1. 法人制度改革について、移行前後の問題点や役員報酬にどう対応するか
2. 郡市区間の情報共有について（特にF C1の活用の長短について）
3. フッ化物洗口事業の今後の問題点の3題についてであった。

日頃から連携を密にしている同胞旧空知支部会の3郡市区会なので気心が知れておりそれぞれのテーマに特徴があり、相互に切磋琢磨できることは誠にありがたいことであり、会議後の1時間の入浴タイムとその後の懇親会により一層友好の実を深めた。

（小森英也記）





札幌歯科学院専門学校 マネキン実習機設置工事

日時：平成23年12月22日～平成24年1月9日まで

平成23年12月22日～平成24年1月9日まで、学生の冬季休暇中、3階歯科衛生士科基礎実習室のマネキン実習機設置工事が行われた。

実習室内にバキューム室を増設し、学生用マネキン機28台、デモンストレーション用1台が設置され、実習室は明るく生まれ変わった。

また、各実習机にはモニターも整備され、インスツルメント細部の動きを間近で確認することが可能となり、大きな教育効果が期待できる。

これからは歯科衛生士科の学生はもちろんのこと、学生募集に係るオープンスクールや、未就業歯科衛生士を支援するリカバリー研修、卒後研修セミナーなどでも広く活用し、長く大切に使用していきたい。

(記)



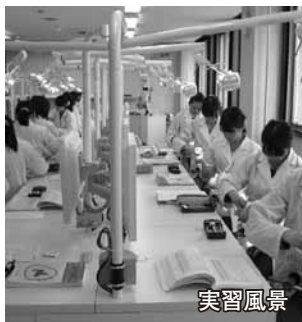
工事前



工事後



実習風景



実習風景

新年互礼会 一会員相互の親睦のなか新春を祝う一

日時：平成24年1月7日(土)午後4時

場所：札幌パークホテル

元旦より続いた穏やかな天候のなか多数の来賓と会員が出席し、毎年恒例の標記互礼会が開催された。

高橋副会長の開会の辞に続き、藤田会長よりいつものながらのユーモアを交えた年頭の挨拶があり、次に来賓の上田文雄札幌市長、山光 進 札幌医会会長、竹内伸仁札幌薬会会長、富野 晃 道歯会会長よりご挨拶をいただいた。



藤田会長

引き続きて他来賓紹介の後、平成23年度終身会員(12名)と新入会員(25名)が紹介され、ステージ上で新入会員の先生方より自己紹介が行われた。



上田市長

祝杯は当日の参会者のなかで、最高齢となられる高崎末吉先生(北支部)のご発声とともに唱和され、開宴となった。会場は例年同様の「着席ビュッフェスタイル」、そして華やかな生演奏の調が奏でられ、新年の挨拶を交わす和やかな談笑の輪が連なっていた。

宴の締めくくりは当日誕生日を迎えられた中村博行先生(中央支部)による乾杯で行われ、荻崎副会長の閉会の辞とともに御開きとなった。

(伊藤文人記)



新年互礼会



新年互礼会

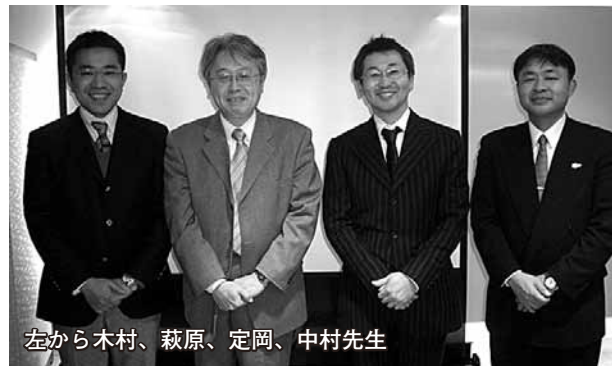
空知

Sorachi

会員学術発表会

日時：平成24年1月14日(土)午後3時～
場所：「ホテル三浦華園」

- ★木村きよし歯科 木村喜芳先生
上顎フルブリッジで対応した歯周炎患者の一例
- ★医療法人社団はぎわら歯科クリニック 萩原 淳 先生
当院で行っているMFTと予防処置そして、実際にあった税務調査
- ★医療法人社団いざなぎ会 定岡歯科医院 定岡雅則先生
当院でのセレックの活用方法・今後の将来展望
- ★なかむらファミリー歯科 中村光宏先生
第二大臼歯の萌出異常について
恒例となった会員発表による標記講演会が下記内容により開催された。(北島雅夫記)



左から木村、萩原、定岡、中村先生

新年会

日時：平成24年1月14日(土)午後6時～
場所：「ホテル三浦華園」

学術発表会に引き続き新年会が開催された。伊東会長の新年の挨拶の後、篠原常夫顧問の乾杯で宴がはじまった。今年度は恒例のゲーム大会ではなく、学術発表会の続編として更なる議論を行い、美味料理と美酒も添えられ、会場は大いに盛り上



伊東会長

越中先生

篠原顧問

がった。最後に越中直正先生の結婚報告が行われ、拍手喝采のうちにお開きとなった。
(北島雅夫記)

後志

Shiribeshi

生涯研修セミナー・麻雀大会・新年会

日時：平成24年1月7日(土)
場所：岩内高原ホテル

〔生涯研修セミナー〕

新年会に先立ち平成23年度生涯研修セミナー「生きるよろこびを与える歯科治療」～良質な歯科治療への知識と技術～と題しDVDを使用し3つの演題で研修会を行った。

- 1、「欠損歯列の咬合を読む」
鈴木 尚 明海大学歯学部教授
- 2、「歯冠修復と接着」
松村秀雄 日本大学歯学部教授
- 3、「歯科診療所での感染予防対策の基本」
片倉 朗 東京歯科大学教授
(山田一晴記)

〔麻雀大会〕

引き続き麻雀大会が開催された。精鋭8名が各々の思惑を胸に四角いジャングルでいざ勝負。結果は、なんと柏谷プロの2連覇となった。BM争いも中村(直)の2年連続で、決着がついた。
(練合哲哉記)

順位	氏名	順位	氏名
優勝	柏谷良雄	5 位	佐藤智賀志
準優勝	西崎公一	6 位	菊地 亮
3 位	水野俊孝	B B	練合哲哉
4 位	國本隆明	B M	中村直喜



麻雀大会

〔新年会〕

佐藤会長の挨拶、柏谷先生による乾杯で幕が開けた。今年の余興は井筒先生による「絵心チェック」今年の干支の「辰」や「ドラえもん」に「ミッキーマウス」など出されたお題で絵を書くという芸術度をチェック。思わぬ「画伯？」が現れ、爆笑の渦であった。優勝は流石ゲイジツカ伊藤 純 先生。準優勝は茂尾公晴先生あった。

(山田一晴記)



新年会

平成23年度 ボウリング部 1 月月例会

日時：平成24年1月10日(火)午後8時～10時

場所：岩内ファミリーボウル

今大会は井筒先生の幹事による、静岡県からお取り寄せの「鰯のひらき」「えぼだいのひらき」などのお魚ひらきセットとわさび味の「海苔の佃煮」という賞品での大会となった。

久しぶりにチューズデイ西崎の復活。スクラッチAve180.3という好成績で圧勝！真冬の七輪のネタを仕入れていった。決勝は黒田vs西崎となり、勝者によって次回の賞品が甘党派か酒飲み派のどちらかになる試合であったが、今回は酒飲み派の賞品になりそうである。

(伊藤 純 記)



	①	②	③	HDCP	
優勝	西崎	223	219	228	43→30
準優勝	黒田	207	233	202	44→34
1 位	長澤	187	202	194	38→36
2 位	岡崎	219	168	192	28→28
3 位	土方	209	193	203	70→62
5 位	山田	178	183	159	56→61
B B	伊藤	158	174	231	30→32
B M	井筒	154	192	181	54→58

室 蘭

Muroran

平成24年 社団法人室蘭歯科医師会 新年会

日時：平成24年1月14日(土)午後6時より

場所：室蘭プリンスホテル

室歯恒例の新年会が来賓に鳩山由紀夫代議士、青山 剛 室蘭市長、小笠原春一登別市長、菊谷秀吉伊達市長、室歯管内の道議滝口信喜氏、川畑 悟 氏、堀井 学 氏、中山智康氏などを迎えて、総勢約90名が出席し開催された。新田専務理事の司会で、林副会長の開会の辞ではじまり、多田会長が「良いことが続いた後によりよく幸運が巡ってくる“一陽福来”の2012年であるように願っております。新法人として新しい歴史を築く力強い一歩を踏み出せるよう、役員一同今後も和の精神を尊重し、会員の皆様とともに居心地のよい団結力の強い組織にしていきたいと思います」と新年の挨拶を述べた。その後、鳩山由紀夫代議士挨拶に続いて3市長の来賓挨拶をいただき、恒例となった多田昌央室薬会会長の新春にふさわしい素敵な詩吟の披露、乾杯で祝宴に移った。祝宴のなかで、同日前もって行われた囲碁大会の優勝者寺島孝征室蘭副市長、麻雀大会の優勝小野瀬憲人先生の表彰や来賓の皆様による鏡開きがおこなわれた。3市長が全て揃って出席し、代議士の鳩山氏をはじめ道議会議員、各市町の教育委員長、技工士会、衛生士会、薬剤師会の会長



など豪華な来賓が揃い、華やかな新年会であった。室蘭歯科技工士会菊池欣哉会長の万歳三唱の後、仲川副会長の閉会の辞で締めくくられた。

(塚田正興記)



学術講演会

日時：平成24年2月4日(土)午後3時より

場所：室歯会館斎藤記念講堂

堅田学術部長の思いの詰まった「口腔がん検診」。室歯会での対応を目指してはじまった口腔がんシリーズの第三段で、総括としての口腔がん治療に関する学術講演会が室歯会主催で開催された。新田専務理事の司会ではじまり、堅田部長より帯広 北斗病院歯科口腔外科 牧野修治郎部長が紹介された。「地域医療における口腔がん治療」と題して講演した。室歯会員約40名が参加し、最新の治療方法や機械が説明され、その高度医療のためには医師とのチーム医療が必要であり、歯科医師は医師の3倍の努力をして平等に見られなければならないと述べた。その後、治療においてはがんならではの「看取る」ことの大切さについて話し、中央（首都圏）ではなく地域での治療の重要性は、患者が中央のがんセンターなどへ行くことでのタイムロスによるがんの進行、治癒率の低下が起これ、その後地方へ戻されてもうまくいかないことが多く、がんの治療を行う上では、全てが治るわけではないことを念頭におき、治療のスタートから終末までをカバーする地域における緩和医療を体系として整え、患者中心の治療が必要であるとした。関心が高く、数多くの質疑応答のあと、林副会長より謝辞があり学術講演会は終了した。

(塚田正興記)



稚内

Wakkanai

社保講習会

日時：平成24年1月14日(土)午後3時より

場所：稚内サンホテル

講師：龍方社保担当常務理事

審査会取扱い変更事例からはじまり、カルテ記載の要点、症例別の間違いの多い事例について詳しく説明が行われた。日常の診療のなかでの算定漏れの無いレセプト、正確なカルテ記載について細かな解説があった。

(今井佐和子記)



新年会

日時：平成24年1月14日(土)午後6時より

場所：稚内サンホテル

社保講習会に続き、龍方先生にも参加していただき新年会が行われた。樋口会長挨拶の後、乾杯で宴会が開催した。酒食も進んだ頃、毎年恒例のビンゴ大会が行われた。井須専務は入会20年以來一度もビンゴの景品が当たったことがないとのことだったが、今年も雪辱を果たすことはできなかった。最後に年男である梁田先生の挨拶により終宴となった。

(今井佐和子記)



北見

Kitami



飯田 肇 先生 旭日双光章受章祝賀会

日時：平成24年1月14日(土)午後6時

場所：ビッツアークホテル

元北歯会会長 飯田 肇 先生は長年にわたり母子歯科保健・成人歯科保健事業に携わり、地域住民の歯科保健思想の普及に努められた一方、へき地歯科保健医療の向上に対しても積極的に活動され多大なご功績を残された。平成19年には厚生労働大臣表彰を受賞され、さらに平成23年11月に栄ある「旭日双光章」の栄誉に浴され、今回祝賀会が開催された。当日は多数の先生がお祝いに駆けつけ盛大なる祝賀会となった。先生の受賞を励みに、我々歯科医師会会員もより地域歯科医療の発展に努める決意である。



(森山雅史記)



北見三師会新年会

日時：平成24年1月21日(土)午後6時より

場所：ホテル黒部

本年の新年会は薬剤師会が主幹で、清水大北薬会会長の挨拶の後、たくさんの来賓の方からお祝いのご挨拶をいただき、高橋北歯会副会長の乾杯で宴がはじまった。

三師会ではお互いの親睦を深め、いろいろな情報が交換でき、市民の健康維持に寄与できるよう連携のとれる場である。

余興では北見吹奏楽団による演奏やビンゴ大会が行われ、なごやかな雰囲気では時間は過ぎ、古屋聖児北医会会長の閉会の辞で終宴となった。



学校歯科保健講演会

日時：平成24年1月28日(土)午後3時～

場所：北歯会館

講師：眞木吉信先生

東京歯科大学社会歯科学研究室 眞木吉信先生をお招きして、「歯科医療職として知っておきたいフッ化物応用の基礎知識」と題して講演いただいた。最近のフッ素の効果、使用法、注意点など、最近の考えかたとともに、日本と欧米におけるフッ素に関する考え方の違い、栄養素としての使用法についても講演した。



今後、フッ素を応用する際、参考になるものであった。

(本間三順記)

日高

Hidaka

井上達也先生厚生労働大臣表彰受賞

本会の相談役である井上達也先生が、平成23年11月岐阜県にて厚生労働大臣表彰を受賞した。先生は、昭和48年に本会に入会後、数々の要職を歴任し、会長になられ、現在行われている本会事業のほとんどを築いた方である。



先生が受賞されたことは私たちにとって誇りでもあり、大変励みにもなる。これからも私たちは、先生から多くのことを学んでいきたいと思う。

(原田史也記)

十 勝

Tokachi

第22回十勝毎日新聞社杯争奪社会人 Bプールアイスホッケー大会

日時：平成23年11月17日(木)～平成24年1月17日(火)

場所：帯広の森アイスアリーナ

十歯会では十勝デンチャーズとして20年程前からチームを結成、毎年、帯広市の社会人大会に出場。今大会は5部の6チームによるリーグ戦に出場し、全5戦を戦い抜き勝敗を4勝1分とした成績で、最終戦もみごと快勝し優勝を決めた。チーム構成は特に例年と変更は見られず、部員数にも苦しみところだが、それは他のチームにも同じことが言え、そのなかでも努力の結果といえる。

(安岡美樹夫記)



歯科診療所における院内感染防止セミナー

日時：平成24年1月28日(土)午後3時～午後6時30分

場所：十歯会館 2階 講堂

標記セミナーが道保健福祉部健康安全局・道歯会の主催で27人の歯科医師、歯科衛生士の参加のもと開催された。今回のセミナーは2回に分け実施し、1つの研修プログラムとする内容で行われた。

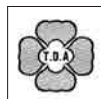
第一回目は「自分の歯科医院における歯科医療機器を介した院内感染防止の弱点に気づくことができる」「自分の歯科医院における歯科医療機器を



介した院内感染防止のために、新たに2～3つの方策に取り組むことができる」ことを到達目標として行われた。研修はワークショップ形式に行われ、1班7名に分けて、ケーススタディの検討、グループ内での個人演習、発表など、普段の講演会とは違った内容に受講者からも好評だった。次回は3月17日に開催予定。
(松澤直昭記)

苦小牧

Tomakomai



税務講習会

日時：平成24年1月28日(土)15:00～17:00

場所：苦小牧市民会館 206号室

牛丸智恵税務・医療管理担当理事の司会のもと、若菜会長の挨拶、講師の略歴が紹介された。

講師は昨年に引き続き、北海道歯科医師会の関原忠雄顧問税理士をお迎えし、『歯科医師の経営について』と題してご講演いただいた。歯科医師は、自分の歯科医院の経営状態を正確に把握し、経営改善・改革をする必要がある。それに必要な「可処分所得の算出方」・「損益分岐点の求め方」を実例を交え、解りやすく説明していただいた。

質疑応答の後、阿部副会長よりお礼が述べられ終了した。参加者は23名だった。



関原忠雄先生

(記)

第3回学術講演会

日時：平成24年2月3日(金)19:30～

場所：苦小牧市民会館 205号室

会員25名、その他1名が参加して標記講演会が行われた。道谷学術担当理事の司会のもと、若菜会長の挨拶後、講師の略歴が紹介された。

昭和大学歯学部附属烏山病院歯科の松浦光洋先生を講師にお迎えして、「精神疾患患者に対する歯科の役割」と題してご講演いただいた。

厚生労働省は今までの4大疾病に精神疾患を加え



松浦光洋先生

て5大疾病とし、これは今後大きな問題となる事を意味しており、烏山病院（各340床の精神科病院。内科と歯科が併設されている）の症例を見せていただき、認知症患者の特徴や口腔内の状態、歯科治療における注意点、また精神疾患患者における接触・嚥下の特徴、インプラント埋入患者について説明していただき、精神疾患患者に対しては一般的な歯科治療だけでなく、口腔ケアに関しても深く係わっていくことが、歯科医師としては大切なことをご教示いただいた。

最後に松浦先生と同級生である阿部副会長がお礼の言葉を述べて終了した。

小樽

Otaru

新年宴会

日時：平成24年2月4日(土)午後6時より

場所：オーセントホテル小樽

53名が出席し新年宴会が開催された。

笠間 茂 会長の挨拶の後、八田盛茂道議会議員、小樽市保健所秋野恵美子所長よりご祝辞をいただき、近藤真章樽医会副会長の祝杯の音頭で開宴となった。

しばらくの歓談の後、新入会員の諸岡 亮 先生、迫健太郎先生が紹介された。

続いて宴会に先立って行われた麻雀大会において、激戦の末、浦川俊英先生が栄冠を勝ち取ったとの成績発表があった。

宴も佳境に入ってきたところで恒例の福引が行われ、一等のハードディスク内蔵ブルーレイディスクデッキは斉藤英輔先生がみごと獲得した。

福引の余韻の残るなか、渡辺秀一樽薬会副会長の一本締めにて今年一年の健康、活躍を誓い合い終宴となった。

(請川哲也記)